

令和6年度 中野市二十歳を祝う会



中野市魅力発信 VTuber
信州なかの

とき
ところ

令和6年5月4日(土)
ソソラホール【中野市市民会館】

中野市・中野市教育委員会・中野市二十歳を祝う会実行委員会



次 第

午後 1 時：式典

	司会	飯野 美紗子
1 開会の言葉	中野市教育長	柴本 豊
2 式 辞	中野市長	湯本 隆英
3 祝 辞	長野県議会議員	丸山 栄一
	長野県議会議員	小林 東一郎
	中野市議会議長	芦澤 孝幸
4 代表挨拶	南宮中学校区	倉石 龍
	中野平中学校区	藤岡 寛人
	高社中学校区	高橋 光太郎
	豊田中学校区	森山 友稀
5 閉会の言葉	実行委員	丸山 大心

午後 2 時：思い出ビデオ上映

午後 2 時 20 分：記念事業「実行委員企画 クイズ大会」

午後 2 時 55 分：記念撮影(小ホールにて撮影)

※撮影順は以下のとおりです。2つのグループに分けて行います。午後4時ごろ終了予定。

1 南宮中学校区A	中町区、西町区、東町区、松川区、普代区、東松川区、 一本木区、栗和田区
2 南宮中学校区B	西条区、上小田中区、下小田中区、東吉田区
3 南宮中学校区C	日野地区、延徳地区
4 豊田中学校区	豊田地区

1 中野平中学校区A	西江部区、東江部区、泉区、岩船区
2 中野平中学校区B	片塩区、七瀬区、吉田区、長嶺区、高丘地区
3 高社中学校区A	平岡地区
4 高社中学校区B	長丘地区、科野地区、倭地区





お祝いの言葉

中野市長 湯本 隆英

二十歳を迎えられました皆様、誠におめでとうございます。中野市民を代表して、心からお祝いを申し上げます。

皆様を今日まで愛情込めて育ててこられたご家族の皆様、ご指導くださいました諸先生方に対しましても、敬意を表しますとともにお慶びを申し上げます。

皆様一人ひとりの個性、能力、想いは、社会にとって欠かすことのできない宝であり、それぞれの皆様が未来を託すにふさわしい若人です。

皆様を育んだ中野市には、「中野市民憲章」にうたわれているように、自然・文化・歴史・産業など誇りを持てる宝がたくさんあります。

ふるさと中野市は、郷土に誇りをもって心豊かに過ごせるよう、市民の一員である皆様の成長を見守ってまいりました。これからは皆様がふるさとの宝物に磨きをかけ、さらに充実した人生となることを願っています。

今年は、市民会館がリニューアルされ、新しい市民会館(ソソラホール)での二十歳を祝う会の開催となりました。

今後、ソソラホールが文化芸術の拠点・市街地の賑わい創生の拠点となるよう準備を進めていますので、皆様もご自身の持つ力を存分に発揮し、「緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち」を支える大きな力となってください。

これからの長い人生、人との出会いと縁を大切に豊かな感性を育み、家族、兄弟姉妹、友人、恩師といった多くの人から受けた愛を、自身の隣人、次の世代に与え受け継いでいただくことを願っています。

結びに、皆様の前途のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。





事を為す

長野県議会議員 丸山 栄一

人生の節目として「二十歳を祝う会」という、輝かしい門出を迎えられた皆様に対し心からお祝いを申し上げます。

若さというエネルギーは、いつの時代も次の新しい時代の大きな推進力となっています。

坂本竜馬は、「世に生を得ることは事を為すにあり」という言葉を残しています。

ここで言う「事」は仕事だといわれていますが、別の考え方をすれば、夢や希望や生きがいを持って目標に向かって進む「事」であり、世の中のため、人のため、自分のために「事」が成せるよう工夫し努力し実践していくことが大切だという人生訓でもあります。

今は「ブーカの時代」と言われ、社会、経済、政治において不安定要素を抱え、先行き不透明な時代の中で二十歳を迎えられました。

しかし、いつの世もこうした時代を逞しく生き抜き、明るい未来を拓くのは若者のエネルギーとパワーであります。

皆さんが、家庭や地域を愛し、意思や覚悟を持って「事」を成せば必ず有意義な人生になり、住みよい社会になります。

このような社会をつくる、次の責任世代は皆様であり、私たちは未来に羽ばたく無限大の可能性に期待しています。

皆さんの前途が洋々たるものになることを、心よりお祈り申し上げお祝いの言葉といたします。





若い人への期待

長野県議会議員 小林 東一郎

20歳を迎えられました皆様、おめでとうございます。

JICA 海外協力隊員としてアフリカの赤道直下の国ガボンに赴いた上田市出身の助産師、下村幸さんの活動報告を聞く機会がありました。

下村さんは大学での学びを通して、発展途上国での周産期死亡率（お産に関わる母子の死亡率）の高さに衝撃を受けたといいます。「日本であれば助かる命が発展途上国では助からない」と生まれた国により生死が決まることに疑問を感じ、草の根レベルで現地の人と関わることのできる JICA 海外協力隊に応募。22年から2年間ガボンの首都リーブルビルに助産師として派遣されました。

ガボンでの活動を通し下村さんは、「経験はお金では買えない財産」「日本の当り前は世界の当り前ではない。日本の物差しは通用しない」ことを痛切に感じたと言っています。

いま世界では、戦乱により多くの命が失われています。貧困に苦しむ人が大勢います。私たちが普通と感じている暮らしのあり様がずっと続けられるのかといった疑問もあります。しかし、そのような不透明な未来を切り開く力を持っているのは若い人たちです。

皆様がこれからも感性を磨き、仲間と協同しながら前に進まれることを期待いたします。





未来を切り開く力

中野市議会議長 芦澤 孝幸

二十歳という人生の節目を迎えられた皆様の門出をお祝いするとともに、これまで深い愛情を持ってお子様を育ててこられたご家族の皆様に対し、心からお喜びを申し上げます。

新型コロナウイルスの流行、地球温暖化に伴う異常気象、台風や地震といった災害の発生など、予測が困難な事象が次々と起こっています。

また、人口減少・少子高齢化や、技術革新の進展など、急激なスピードで社会が変化しています。先が見通せない不安もありますが、夢や希望を持ち、自ら考え、行動し、未来を切り開く大人になってほしいと願っています。

今は多様性が尊重される時代です。人種や性別、身体の特徴、感じ方や考え方の違いなど、多様な文化や価値観を受け入れ、互いに協力し合うことで、新たな発想やイノベーションが生まれます。

若い力で誰もが豊かさを実感できる持続可能な社会を実現させましょう。

本日は、故郷に思いを巡らせて、大人になった自分を実感しつつ、家族への感謝とともに、これからの人生について考えるきっかけにさせていただければ幸いです。

結びに、皆様のこれからの人生が充実し、大いに活躍されますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。





持続可能な国「日本をめざして」

中野市選挙管理委員会委員長 傳田 武彦

20歳を迎えた皆様、おめでとうございます。未来の日本を担っていく貴重な人材である皆様の節目に立ち会えることは、大変光栄なことです。

今、日本は人口の減少が深刻な問題となっております。皆さんが生まれた20年前の長野県の人口は、217万8,814人でしたが、令和6年2月には199万9,182人と大台を割り込み、2050年には150万人になっていくだろうと試算されています。

また、日本全体では令和4年に約1億2,500万人だった人口が、同じく2050年には9,500万人になってしまうだろうといわれています。人口減少後の日本をどう作っていくか、皆さんの英知にかかっています。

私たちが生きている日本は、民主主義が浸透し、人民が主権（最高の権力）をもって政治を行います。憲法さえ逸脱しなければ、自由に発言し、自由に行動できます。これから先の人生を自由に生き、そして人口減少による未知の時代を創造的に築いていくためには、民主主義を持続させていかななくてはなりません。

その民主主義を根底から支えるものが、選挙というシステムです。既に18歳で選挙権を手に入れた皆さんは、実際に投票をされたでしょうか？どうかこの大切な権利を放棄せずに、民主主義を維持させるために自分の考えをしっかりと示し、持続可能な理想の社会を築き上げていくことをお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和5年度明るい選挙啓発ポスター

公益財団法人明るい選挙推進協会会長・
都道府県選挙管理委員会連合会会長賞



中野市立南宮中学校1年

さかい れい
酒井 麗さん





二十歳の皆さんへ

中野市教育長 柴本 豊

二十歳を迎えられました皆さん、ご家族の皆様
心からお祝いを申し上げます。

めでたく二十歳を祝う会を迎えられ、明るい希望
と人生への期待に胸をふくらませておられること
と、心からお慶び申し上げます。

皆さんが生まれた頃、小惑星「イトカワ」を探索
するために、小惑星探査機「はやぶさ」が打ち上げ
られました。

「はやぶさ」は様々な困難を乗り越えながら、世
界で初めて月以遠の地球圏外の天体に着陸し、サン
プルを地球に持ち帰ることに成功しました。

太陽系誕生初期の記録が残されている、人類初の
小惑星のサンプルが入手できたことで、太陽系の起
源と進化の研究に大きく貢献する画期的な成果を得
ることができました。

そのような輝かしい年に生まれた皆さんが、「はや
ぶさ」のように大きく羽ばたくことを願って、「学び」
という言葉を贈りたいと思います。

「学び」は学校生活の中だけのものだと思われる
かもしれませんが、実はそうではありません。
皆さんはご家庭で身近な人たちとのふれあいを学
び、また地域の行事に参加することで地域の文化や
環境に触れ、多様な年齢の方々との交流を学び、学
校では恩師や友人との関係を学び、知らなかったこ
とを知ることができる喜びも学ばれてきました。

人生100年と言われている現在、今までの学びか
ら生きる力を身につけられた皆さんは、今後はさら
に視野を広げ人生を活力のあるものにしていくた
め、ご自分の興味のあることや好きなこと、また新
しいことを学び、その中で成長し続けていただきた
いと願っています。

結びに、皆さんの輝かしい未来とご活躍をご期待
申し上げ、お祝いの言葉といたします。





ノミの話

中野市中学校長会代表

南宮中学校長 大塚 秀樹

二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。中学卒業から五年が経ち、それぞれの道で頑張っていることと思います。

そんな皆さんに『ノミの話』を贈ります。ノミは2～3mmの大きさで、動物の血を吸って生きていますね。ここで三択問題！『もしもノミが人間の大きさになったら、どのくらいのジャンプ力があるでしょう？ ①教室の天井の高さ ②中学校の校舎の高さ ③東京タワーの高さ』…正解は③だそうです。ものすごいジャンプ力ですね。

ある実験をした人がいます。ノミを小さな瓶に入れてふたをして飼っていると、今度はふたをとっても瓶の高さ以上にジャンプすることができないそうです。おそらくふたにぶつかるうちに、「自分のジャンプ力はこのくらいだ」と決めつけてしまうのかもしれない。

この話から、どれだけ大きな可能性を秘めていても、「自分には無理」という心のふたをしてしまっただけは、自分の力を発揮できなくなってしまうのです。皆さんは毎日の生活の中で、困難に出会っても、心にふたをすることなく自分を信じてほしいと思います。

結びに、皆さんのご健康とご活躍をお祈りし、お祝いの言葉といたします。



令和6年度 中野市二十歳を祝う会対象者数

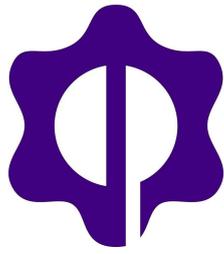
(令和6年2月1日現在)

地区名	男	女	計
中野	68	72	140
日野	8	9	17
延徳	15	18	33
平野	61	49	110
高丘	16	13	29
長丘	3	11	14
平岡	22	22	44
科野	9	9	18
倭	3	4	7
豊田	17	16	33
計	222	223	445

[記念事業] 実行委員企画「クイズ大会」協力者一覧 (50音順・敬称略)

一般財団法人信州なかの産業・観光公社、創作土人形工房まちなか交流の家、高野辰之記念館、中山晋平記念館、長野県労働金庫中野支店、ぼんぽこスタンプ会、道の駅ふるさと豊田

ご協力いただき誠にありがとうございました！



中野市民憲章



うるわしき山々 水清く 流れ逢いよる千曲川

大地は豊かに実りを産みだし 太古より歴史文化の息づく中野市です

わたくしたちは この中野市に生きる幸せと誇りをもって

さらに住みよく 働きやすく 心豊かに過ごせるまちづくりを願い

憲章を定めて 進みます

- 花咲き 鳥うたい 緑あふれる 環境をまもる まちをつくります
- 心と体をととのえ 安全で 創意をいかして働ける まちをつくります
- 笑顔あふれ あいさつゆきかう ふれあいのある まちをつくります
- 子どもも大人も さそいあって 共に学びあう まちをつくります
- 音楽を愛し 伝統を重んじ 文化の香る まちをつくります

平成 22 年 4 月 1 日 制定

市の花「バラ」、市の花「シャクヤク」、
市の木「リンゴ」、市の木「もみじ」、市の鳥「チョウゲンボウ」
(平成 20 年 4 月 1 日告示)